

令和8年3月13日

枚方信用金庫

**令和7年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に
当庫を含む4信用金庫による『東海道五十七次を核とした広域連携型地域課題解決支援』
が選定・表彰されました**

この度、当金庫（会長：吉野敬昌）が京都中央信用金庫、京都信用金庫、大阪シティ信用金庫と連携して取り組んでいる地域活性化事業『東海道五十七次を核とした広域連携型地域課題解決支援』が、令和7年度「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に選定され、地方創生担当大臣表彰を受賞しました。

本表彰制度は、全国の金融機関等が地方公共団体や地域事業者等と連携して取り組む地方創生事業のうち、特に先駆性や地域課題解決への効果が認められる取組を内閣府が表彰するものです。令和7年度は**全国810件の候補事例の中から8件**が選定されました。

なお、当金庫は3年連続6回目の選定となります。当金庫は今後も行政および信用金庫のネットワークや、地域のステークホルダーと連携して地方創生に取り組んでまいります。なお、表彰式は下記のとおり開催されました。

表彰式概要

日 時：令和8年3月13日（金）17:50～18:20

出席者：内閣府特命担当大臣（地方創生）黄川田大臣（代理授与：津島副大臣）

場 所：中央合同庁舎第8号館（東京都）



写真左から、（京都信用金庫榊田理事長、京都中央信用金庫白波瀬会長、津島地方創生担当副大臣、当金庫吉野会長、大阪シティ信用金庫高橋会長）

<受賞した取組の概要>

本取組は、江戸時代に整備された「東海道五十七次」の歴史文化資源を活用し、**地域金融機関・自治体・地域事業者・商工会議所等が連携して広域的な地域課題の解決を目指すプロジェクト**です。

対象エリアは、大津宿以降の宿場である**伏見宿・淀宿・枚方宿・守口宿**および大阪の**高麗橋エリア**であり、歴史資産を核とした観光振興や地域回遊の促進を通じて、地域産業の活性化や交流人口の拡大などの地域課題解決に取り組んでいます。

また、本事業では淀川を活用した舟運事業（淀川舟運の復活）やウォーキングイベント、写真コンテストなどを実施し、観光振興・健康促進・地域文化の継承を同時に推進する地域創生モデルとして展開しています。

具体的には以下のような取組を実施しています。

- ・ 淀川舟運の復活を目指す舟運事業
- ・ 東海道五十七次整備 400 周年記念イベントの開催
- ・ 「東海道五十七次御宿場印帳」および宿場印カードの制作・販売
- ・ 宿場エリアを巡るウォーキングイベント
- ・ 写真コンテスト・美術展の開催

これらの取組により、地域住民の健康増進や交流の促進、地域事業者の来客増加や売上創出、さらには歴史文化資源の再発見による地域ブランドの形成など、多面的な効果が生まれています。また、淀川舟運の活用は観光資源としてだけでなく、**災害時の代替輸送ルートとしての機能強化にも寄与する取組**として評価されています。

<取組の成果>

これまでの主な成果として、以下の実績が挙げられます。

- ・ 東海道五十七次整備 400 周年記念イベント
来場者 約 12,000 人
- ・ 写真コンテスト
応募数 860 点
- ・ 宿場ウォーキングイベント
全 24 回開催、参加者 1,170 名
- ・ 御宿場印帳・宿場印カード販売
印帳 231 冊、カード 1,043 枚

これらの取組を通じて、地域住民の郷土愛の醸成、地域事業者の売上増加、観光客の回遊促進など、地域経済の活性化に寄与しています。

<今後の展望>

当金庫では、今後も行政や信用金庫のネットワーク、地域事業者、関係機関と連携しながら、地域資源を活用した広域的な地域活性化の取組を推進するとともに、地域金融機関として人の流れと経済循環の創出に取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

※「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」

内閣府が全国の金融機関等から報告された地方創生の取組を評価し、地方公共団体等と連携した事例や先駆的な事例を選定・表彰する制度です。



<本件の問い合わせ先>

枚方信用金庫 地方創生推進部

電話：072-841-1177 担当：猪飼